

ヒトと動物の関係学会

第 17 回総会資料

総会議題

- 1号議案 2010年次事業報告
- 2号議案 2010年次決算報告
- 3号議案 監査報告
- 4号議案 2011年次事業計画（案）
- 5号議案 2011年次予算（案）
- 6号議案 その他

日時：2011年3月13日（日）午後1時より

場所：東京大学農学部弥生講堂

※東日本大震災が発生したため延期となり
2011年6月26日（日）午後2時より実施しました。

< 1号議案 >

2010年次事業報告

1) 2010年12月31日現在の会員数 正会員 866名 名誉会員 2名
賛助会員・法人会員 14団体

2) 学術大会の開催

第16回学術大会 東京大学農学部弥生講堂

大会実行委員長 井本 史夫

参加人数 194名

2010年3月6日(土)・3月7日(日)

シンポジウム第一部「ウシを語る」

コーディネーター：近藤 誠司

演者：「ヒトと牛と地域社会」 菅 豊

「牛について考える -牛は反芻する動物である-」 岡本 全弘

「ウシの知覚能力について」 植竹 勝治

シンポジウム第二部『ペットロス』探求

コーディネーター：横山 章光

演者：「研究からみる『ペットロス』の現状」 藤田 典子

「ペットロスに迫る量的研究・質的研究」 木村 祐哉

「喪失と悲嘆研究の現状：歴史的流れから最近の話題まで」 瀬藤 乃理子

一般口演 28題 ポスター演題 9題

3) 研究会の開催

2010年1月9日(土)・10日(日) 第六回「学生、大学生のための学術発表審査会2010」

場所：関東地区 麻布大学

関西地区 京大会館

審査員：学術委員、編集委員など

発表演題：18演題（関西8・関東10）

2010年1月10日(日) ヒトと動物の関係学会『関西シンポジウム2010』

～「ヒトと動物の関係学」全4巻（岩波書店）を読む～

場所：京大会館

講演者：コーディネーター：若生 謙二

奥野 卓司 「『ヒトと動物の関係学シリーズ』編集委員として」

池谷 和信 「ヒトと動物の関係学のめざすもの？ -編集委員の立場から-」

瀬戸口 明久 「ヒトと動物の関係学はどこへ向かうのか？」

石田 戡 「『ヒトと動物の関係学』の読み方とHARs」

2010年4月17日(土) 第78回月例会「重度・最重度知的障害者へのアニマル・セラピー」

場所：東京大学農学部 7号館 104号室

講演者：川添 敏弘

2010年5月15日(土) 第79回月例会「狸の日本史」

場所：東京大学農学部 7号館 104号室

講演者：中村 禎里

2010年6月19日(土) 第80回月例会「サルと人間の共存：アフリカ、南米、そして日本」

場所：東京大学農学部 7号館 104号室

講演者：伊澤 紘生

2010年7月17日(土) 第81回月例会「特別シンポジウム：両爬虫類にハマる人たち」

場所：東京大学農学部 1号館 8番教室

講演者：松井 正文

リチャード・ゴリス

千石 正一

星野一三雄

2010年7月22日(土) 第82回月例会

『Hunting and Wildlife Management in Germany (ドイツの森林学における狩猟管理学の役割)』

場所：北海道大学農学部新棟 W109

講演者：シャラー博士

共催：森林学会、エゾシカネットワーク、ヒトと動物の関係学会

2010年7月23日(日) シンポジウム『野生動物の個体数管理』

場所：酪農学園大学 学生ホール

共催：酪農学園大学、北海道・ヒトと動物の関係学会

後援：環境省北海道事務所

講演：1)アメリカにおける専門家集団による野生動物の個体数管理 Anthony DeNicola 博士

2) ドイツの狩猟学と野生動物管理官の育成 Shaller 博士

3) 北海道におけるエゾシカ問題と専門家育成の必要性 宇野 裕之

4) 酪農学園大学が進める狩猟者の育成プログラム 伊吾田 宏正

総合討論 : 司会・通訳 酪農学園大学 吉田剛司

2010年9月4日(土) 第83回月例会「スウェーデン IAHAIO 報告会」

場所：明治大学リバティホール 10F 1103

主催：藍青会 (元 IAHAIO2007 東京大会実行委員会)

基調講演 デニス・C・ターナー

2010年9月4日(土) 「ヒトと動物の関係をめぐる死生学」シンポジウム

場所：東京大学理学部小柴ホール

共催：東京大学大学院人文社会系研究科グローバルCOE「死生学の展開と組織化」

ヒトと動物の関係学会

講演：基調講演 デニス・C・ターナー（司会：津田望）

シンポジウム第一部「ヒトと動物の関係」

提題 太田 光明「アニマルセラピーが医学に受け入れられる日は来るか」

会田 保彦「歓びと哀しみの果てについて」

篠田 林歌「補助犬の受け入れはなぜ進まないのか」

司会：赤川 学 コメンテータ：新島 典子

シンポジウム第一部第二部「動物の倫理」

提題 伊勢田 哲治「動物実験の倫理：権利・福祉・供養」

鶴田 静「ベジタリアニズム—愛と思考の非肉食」

司会：関根 清三 コメンテータ・オーガナイザ 一ノ瀬 正樹

2010年10月16日(土) 第84回月例会「動物園学の基礎的問題」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：石田 戡

2010年12月5日(日)

第85回月例会 動物観研究会第12回公開ゼミナール「異界性としての生き物」

場所：東京農工大学農学部 2-11

演題：開始挨拶 亀山 章

「狩猟者とシカ・イノシシ・サル—鳥獣被害対策としての狩猟」

大橋 未紀

「地域における動物所有の社会化—大正期奈良における愛鹿運動をめぐって—」

東城 義則

「動物観をつくる動物園—長野市茶臼山動物園レッサーパンダの森」

若生 謙二

「母が子育てで向きあう動物観」

池田 泰子

特別企画「異界性としての動物」

特別講演「杜牧『江南春』の世界」

奥本 大三郎

「異界性はどのように醸し出されるか」

石田 戡

「私は樹木—人格と共生する樹格」

杉田 久美子

「生存競争という比喩—『仮面ライダー剣(ブレイド)』の一解釈—」

森 由民

「江戸時代の物語におけるネズミの住処—天井・どぶ・かくれ里—」

安田 容子

「隠岐島における『化かす猫』—佐渡島のムジナ憑きとの比較から—」

近藤 祉秋

総合討論「異界性としての動物」

司会 石田 戡

4) 会議の開催

常任委員会

理事会

評議員会

編集委員会

学術委員会

5) 学会誌の発行

第 25 号発刊 3 月 1200 部

第 26 号発刊 7 月 1200 部

第 27 号発刊 12 月 1200 部

動物観研究 15 号 12 月 1200 部

1. 会計報告

(単位:円)

I、収入の部				
科目	2010年12月31日	2010年度予算	予算比	備考
一般・学生会費	3,729,500	3,550,000	105%	
賛助・法人会費	340,000	440,000	77%	
大会参加費	982,000	1,000,000	98%	学術大会 大会費、懇親会費
出版物売上	179,500	140,000	128%	学会誌、予稿集
広告費・別刷費	440,500	750,000	59%	
雑収入	77,300			シンポジウム、月例会等
預貯金利子	441			
雑収入計	77,741	90,798	86%	
当期収入合計	5,749,241	5,970,798	96%	
前期繰越額	3,791,877	3,791,877		
収入の部合計	9,541,118	9,762,675	98%	(当期収入合計+前期繰越額)

II、支出の部				
科目	2010年12月31日	2010年度予算	予算比	備考
学会誌印刷費	1,376,865			学会誌通巻24・25・26号・動物観No.15
学会誌制作費	1,197,720			学会誌通巻24・25・26号制作費・編集費
学会印刷費	42,420	(印刷・制作費)		振込用紙等
小計	2,617,005	2,725,000	96%	
大会費	1,049,885			講演料、会場費、懇親会費等
シンポジウム・月例会費	949,588			講演料、会議費、IAHAIO関連
通信費	180,533	(事業費・会議費)		HP管理費、電話
小計	2,180,006	2,075,000	105%	※
郵送費	203,967	280,000	73%	
人件費	630,000			事務人件費・製本発送バイト代
旅費交通費	170,050			
事務用品費	67,852	(事務費)		事務用PC含む
小計	867,902	1,150,000	75%	
雑費	3,256	20,000	16%	振込手数料他
予備費	0	3,512,675	0%	
当期支出合計	5,872,136	9,762,675	60%	

2. 会費納入状況

個人会員会費納付状況(平成22年12月31日現在)

年度	各年度末総会員数	納付件数	納付率	昨年末	今年度増加
2007年度分会費	893	715	80.1%	712	3
2008年度分会費	935	696	74.4%	659	37
2009年度分会費	893	659	73.8%	552	107
2010年度分会費	868	596	68.7%		

※2006年度より滞納者を2010年度退会者扱いにしている

年度	納付口数	納付金額
2008年納付	815	3,872,500円
2009年納付	708	3,441,000円
2010年納付	779	3,729,000円

賛助・法人会員会費納付状況(平成22年12月31日現在)

年度	各年度会員数	納付済件数	納付率
2009年度分			
賛助会員	13	8	61.5%
法人会員	2	2	100.0%
2010年度分			
賛助会員	12	3	25.0%
法人会員	2	1	50.0%
2011年度分			
賛助会員	12	1	8.3%
法人会員	2	0	0.0%

監査報告

2010年1月1日から12月31日までの2010年次における会計および業務の監査を行い、内容について適正であると認めたのでこれを報告する。

2011年2月9日

監事 旗谷 昌彦

加藤 由子



< 4号議案 >

2011年次事業計画(案)

1) 学術大会の開催

2011年3月12日(土)・13日(日)

東京大学農学部弥生講堂

シンポジウム第一部「エゾシカによる被害の防止と対策」

座長：石田 戡

パネリスト：宮木 雅美

井田 弘之

増子 孝義

シンポジウム第二部「『多頭飼育』問題を考える」

座長：古荘 純一

パネリスト：細川 雅人

江端 資男

横山 章光

2) 研究会の開催

シンポジウム 2回(2011年1月京都終了)

月例会 12回

学生審査会 1回(2011年1月終了)

2011年1月22日(土)・23日(日) 第5回「学生、大学生のための学術発表審査会2011」

場所：関東地区 東京農工大学

関西地区 京都大学理学部

審査員：学術委員、編集委員など

発表演題：21演題(関東12・関西9)

2011年1月23日(日) 関西シンポジウム2011『クマと向き合う現場から2010』

場所：京都大学理学部

司会・進行：伊谷原一

講演者：三浦 慎悟「クマと人の関係、現在と過去」

濱崎 伸一郎「2010クマの出没状況と放獣の実際」

鹿取 悦子「クマの狩猟と保護管理」

廣末 絹男・芝原 淳「現場における行政の取り組み」

2011年5月23日(土) 第86回月例会

「障害治療手段としての乗馬～リハビリ専門職の視点から～」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：浅利 和人

2011年6月18日(土) 第87回月例会

「日本人の生命観」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：中村 禎里

2011年7月16日(土) 第88回月例会

「ペットロスー自助グループからの報告」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：梶原 葉月

< 5号議案 >

2011年次 予算 (案)

2011年次 予算(案)

(単位:円)

I、収入の部

科目	2011年度予算	計算方法
一般・学生会費	3,680,000	過去3年間実績平均端数切捨て
賛助・法人会費	340,000	昨年実績から
大会参加費	980,000	例年実績から
出版物売上	170,000	昨年実績から
広告費・別刷費	440,000	昨年実績から
雑収入計	71,018	シンポジウム、月例会等、預貯金利子(昨年実績から)
当期収入合計	5,681,018	
前期繰越額	3,668,982	2009年度末資産残高から
収入の部合計	9,350,000	(当期収入合計+前期繰越額)

II、支出の部

科目	2011年度予算	備考
学会誌印刷費 学会誌制作費 学会印刷費	2,720,000 (印刷・制作費)	学会誌27・28・29号及び動物観研究 学会誌27・28・29号制作費・編集費 封筒、パンフレット、振込用紙、コピー代等 ・・・昨年実績から
大会費 シンポジウム・月例会費 通信費	2,080,000 (事業費・会議費)	講演料、会場費等 講演料、会議費、IAHAIO関連 HP管理費、電話 ・・・昨年実績から
郵送費	210,000	昨年実績
人件費	900,000	事務人件費・年末製本発送バイト代
旅費交通費 事務用品費	(事務費)	・・・昨年実績から
雑費	10,000	振込手数料他+予備費
当期支出合計	5,920,000	
次期繰越額	3,430,000	前年残から約△24万円
支出の部合計	9,350,000	

< 6号議案 >

その他